



図書室だより



としょいいん 図書委員が かみしばいの 読み聞かせをしました

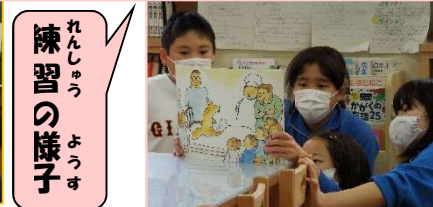
4月23日の「子ども読書の日」にちなんで図書委員のみなさんが、1年生にかみしばいの読み聞かせをしました。「緊張したけど楽しかった!」「1年生がかわいかった。」と感想をいきいきと話していました。先生がたからは「じょうずに読めてましたよ。」「1年生もお話の世界に引きこまれていましたよ。」という話をいただきました。



こうつうあんぜん
交通安全がテーマ
のかみしばいを
読みました。



一年生が
感想を発表
してくれま

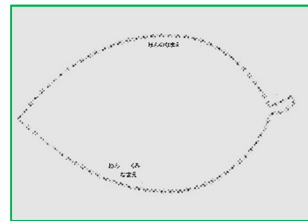


れんしゅう
練習の様子

News!

読書カードを募集しています!

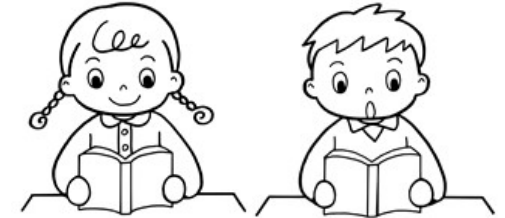
おもしろかった本、好きな本、おすすめしたい本など、読書カードに書いてしょうかいしてください。カードは図書室のろうかに掲示します。かべいっばいの大きな木にしよう! カードを書いてくれた人には、しおりをプレゼントします。



5・6年生のみなさんへ
休み時間のかしだしは、個人のカードで行います。カードはクラスごとにならべてあります。よろしくおねがいします。

読書で身につく7つの力

- その1 言葉や読み解く力が身につく
- その2 集中力が養われる
- その3 知識が増える
- その4 想像力がゆたかになる
- その5 人の気持ちがわかりコミュニケーション力が高まる
- その6 自己肯定感が高くなる
- その7 気持ちが安定する

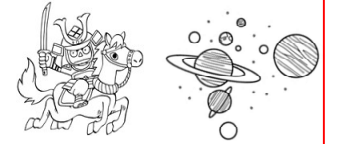


その名もD7

昨年度の朝会で、校長先生がお話してくださいました。本を読むとこんなにいいことがあるんだなと思った人が、たくさんいたのではないのでしょうか。

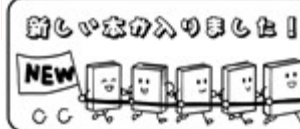
「日本語の使い方きたえるためのトレーニング道場が読書です。」と齋藤孝さんが『頭がよくなる必殺! 読書術』(PHP研究所)という本に書いています。また「言葉をたくさん知ると、自分の気持ちやしたいことを言葉にできて正確に伝えられるので気持ちが楽になります。」「自分の頭の中に(物語の世界の)絵をつくり、それを動かしながら読んでいきます。その能力を想像力といい、人間らしさのあらわれです。」とも述べられています。本のページをめくっていくと、戦国時代や未来に、または海外にも行けます。

そして登場人物の気持ちや行動にうなづいたり、ハラハラしたりします。そこから人の気持ちや自分の気持ちもわかるようになります。



でも、なにを読んだらいいのかな?と図書室でかりたい本が決まらないときもありますね。そんなときは、「まずは1ページ読んでみて。」そして「これはいける!」という本をえらんでみましょう。そして、「1冊おもしろい本と出会えたら、その同じ作者が書いた別の本を読んでみる。または、探偵ものがおもしろかったら、べつの探偵シリーズを読んでみる。」と、どんどん読書量がふえ、力がついていきますね。

図書室ではたくさんのお本が、みなさんをまっています。



怪談えほん・ふしぎ駄菓子屋銭天堂17・絶叫学級
ジュニア空想科学読本16~18・ぐるぐるの図書室 など